

ネット集団語における接尾辞「-み」の語基拡張

水野 みのり

(言語文化学部 ロシア語専攻)

キーワード：日本語，派生，若者語，Twitter

0. はじめに

日本語の形容詞を名詞化する接尾辞「-み」は元来、同様の機能を持つ「-さ」に比べて生産性の低い接尾辞とされてきた(杉岡 2005)。しかし現在、インターネット上に投稿される文章において「-み」が接続する基体(base)¹の拡張がみられる。具体的には「つらい」「寒い」など従来「-み」が接続しなかった形容詞、多くの名詞、動詞連用形などに「-み」が接続する現象が起きている。この接尾辞「-み」の新しい用法について、Twitter²を用いて用例を収集・分析しその特徴を探ることが本稿の目的である。なお、本文中の例文番号、図表番号、下線については特に断りのない限り筆者によるものである。Twitter から得た用例については、文末に投稿年月日を付した。

1. 先行研究

1.1. 宇野(2015)

宇野(2015)は、新しいミ形の登場以前から使われている「〇〇み」の形をとる語を「従来のミ形」とし、Twitter の検索機能を使用して集計された「〇〇み」の形をとる語のうち、従来のミ形を除いたものを「新しいミ形」と定義した上で、その若者語・ネット集団語³としての側面に注目している。従来のミ形として数えられた語は 30 語であったのに対し、新しいミ形は異なり語数で 225 語にのぼった。新しいミ形の使用が拡大した第一次拡大期は 2010 年であり、語基拡張の動きが活発化した第二次拡大期は 2013 年であるとされる。

1.2. 影山(1993)

影山(1993)は、合成語の要素のうち独自の意味的なまとまりを持つものを基体(base)、基体に付着することによって初めて機能する要素を接辞(affix)と呼ぶと定義している(影山 1993: 13)。接尾辞「-さ」は「甘さ、深さ」のように単一の基体にも付き、「甘酸っぱさ、奥深さ」のように複数の基体からなる複合基体にも付くのに対し、接尾辞「-み」は「ごく限られた形容詞にしか付かず、とりわけ『*甘酸っぱ-み』や『*奥深-み』のような複合基体に付くことはできない」と述べている(影山 1993: 15)。

¹ 基体の定義については 1.2 節を参照されたい。

² 一度に 140 字までの文章(ツイート)を投稿できるインターネット上のコミュニケーション媒体(<https://support.twitter.com>)。月間アクティブユーザー数は約 3 億 1,000 万人である(<https://about.twitter.com/ja/company>)。

³ 宇野(2015)は、ある小さく狭い集団に特有で、人工的に作られる言葉を集団語の定義とし、インターネット上でみられる集団語を「ネット集団語」としている。

1.3. 杉岡(2005)

杉岡(2005)では接尾辞「-さ」と接尾辞「-み」について、「-さ」は基体となる語(ベース語)の品詞条件を決して逸脱せず、一方「-み」は特定の意味を持ち、意味的な整合性があればベース語の品詞を厳しく限定しない傾向が見られることが指摘されている。

「-さ」は形容詞、形容名詞⁴の語根にほぼもれなくつくことができ、派生語・受身や使役を含む複雑述語・複合語・外来語・新語にも付加する。対照的に「-み」が付加する形容詞は限定的で予測不可能であり、派生語や外来語等にも付加しない。しかし、「-さ」のベース語が形容詞や形容名詞に限られるのに対し、「-み」は形容名詞、非自立語、名詞、動詞、擬態語にも付加する。(杉岡 2005: 77-79)

『-み』という接尾辞が固有に持つ意味は『具体的な感覚』であり、ある種の感覚に言及することが必要になったときに、その感覚の原因となる属性をあらわす語に『-み』を付加することで、その感覚に名前をつける」と杉岡(2005: 79)は説明している。

1.4. 先行研究のまとめと問題点

宇野(2015)では、Twitter での「やばみ」「つらみ」などの「新しいミ形」の出現時期と拡大時期が示されたが、影山(1993)で述べられている『-み』は単純基体にしか付かない」という従来の性質が新しいミ形においてどう変化しているのかについては詳しく述べられていない。さらに宇野(2015)の調査は形容詞のみを対象としており、杉岡(2005)で指摘されているような基体となる品詞の拡大については述べられておらず、形容動詞や名詞に「-み」が接続して新しいミ形が形成される現象は示されていない。

以上から、ネット集団語において新しいミ形の基体となる語が従来のミ形に比べどのように拡大しているのかについてはさらに考察の余地があると考ええる。

2. 調査方法

Twitter のツイート検索機能「高度な検索」(以下「Twitter 検索」)を使用し、「-み」をとる語を含む例文を検索する。調査に主に Twitter を使用する理由は、①筆者が注目する「-み」をとる語基の拡大は 2010 年ごろからの比較的新しい現象である(宇野 2015)ため従来のコーパスには収集されていない可能性があり、②宇野(2015)で「ネット集団語」として位置づけられている新しいミ形は、インターネット上の比較的くだけた文章においてもっともよく観察できると考えるからである。

調査は 3 段階に分け、それぞれを「調査 1」「調査 2」「調査 3」とする。

調査 1 形容詞の調査: どのような形容詞が新たに「-み」をとることを許容しているか

調査 2 共起する述部の調査: 調査 1 で特定した新しいミ形は、文の中でどのような助詞・述部と共起するか

調査 3 その他の品詞の調査: 形容詞のほかにはどのような語が「-み」をとるか

⁴ 杉岡(2005)は、影山(1993)が従来の「形容動詞」を指して用いている、「形容名詞」の名称を採用している。

調査1・形容詞の調査は、宇野(2015)に倣い、林・斎藤・飯田(1973)において近代語として登録されている語をもとに行った。その中で現在も使用されている形容詞を絞り込むため、現代日本語書き言葉均衡コーパスの検索アプリケーション「少納言」で形容詞の終止形を検索し、検索結果が5件以下だったものは調査対象から除いた。表記上同じ語形になる形容詞(ex. ころくるしい / ころぐるしい[心苦しい]、かまびすしい / やかましい[喧しい])は、検索の都合上一つの形容詞と見なした。以上から、調査に使用したのは近代語の形容詞 694 語のうち 541 語である。

調査手順は以下の通りである。

- ① 上記の語について、語幹+「-み」の形を現代日本語書き言葉均衡コーパスの検索アプリケーション「中納言」(以下「中納言」)で検索し、従来から「-み」をとる語を特定する。検索は語彙素検索を用い、マ行動詞の連用形(ex. 悲しみ、親しみ)を除外するため品詞の大分類を名詞に設定する。
- ② ①で特定した語を除いて、語幹+「-み」の形を「Twitter 検索」で検索し、1件でも該当した語を記録する。これを新しいミ形であるとする。
- ③ 「Twitter 検索」で新しいミ形を検索し、後続する格助詞と述部を記録する。
ex. 「世界史のテストやばみを感じる」 格助詞: を 述部: 感じる
- ④ 「Twitter 検索」で「み+③で集計した中で特に件数の多かった助詞・述部」を検索し、形容詞以外にも範囲を広げて「-み」をとる語を含む文を収集する(ただし調査の結果、語ではなくむしろ句や節というべき host も存在した。詳細は 4.1.2.節で述べる)。

3. 調査結果

3.1. 調査1

「中納言」で「-み」を接続した形がヒットしたのは 37 語である。検討の結果、検索結果が 10 件以下である 7 語を除くこととし、「楽しい」「痛い」「悲しい」「苦しい」「甘い」などの 30 語を従来からミ形を作る形容詞とした。

一方、「Twitter 検索」では「-み」を接続した形で現れたのは 390 語であり、新しく「-み」をとるようになった語は「あざとい」「可愛い」「切ない」「つらい」「眠い」などの 360 語にのぼった。新しいミ形の用例には、例えば次のようなものがある。

- (1) SB69⁵終わってしまったの物悲しみ(2015.6.24)
- (2) 夜は涼しみがあつたのに、暑いな(2016.8.31)
- (3) すき家にウェイ 18 人グループいてうるさみ(2016.9.9)

「ない」「良い」は「なさみ」「良さみ」のように「さ」を挟む形で現れた。「情けない」「心地よい」など、複合基体の要素に「ない」「よい」が含まれるものも「情けなさみ」「心

⁵ TV アニメのタイトルの略称である。

地よさみ」のように「さ」を挟む形で現れることがあった。

3.2. 調査2

新しいミ形を作る形容詞 119 語のうち約 1 割の 12 語「懐かしみ」「忙しみ」「愛しみ」「遅み」「恐ろしみ」「賢み」「だるみ」「少なみ」「つまらなみ」「にぶみ」「欲しみ」「虚しみ」を無作為に抽出し、ミ形を「Twitter 検索」にかけた。検索結果のうち最近 50 件の投稿を分析し、共起する助詞と述部を抜き出した。

新しいミ形は言い切りの形で現れることがあり、この言い切りの形を 2 種類に分類した。

- ① 「あざとみ」のような一語文や「○○があざとみ」という文は、「あざとい」「○○があざとい」と形容詞終止形に置き換えることができる。(言い切り①)
- ② 「○○のあざとみ」という文は、「あざとみ」を「あざとい」に置き換えることができない。(言い切り②)

さらに、「あざとみの極み」「かわいみの塊」のように、ミ形が格助詞「の」をとって体言を修飾している場合を「連体修飾」と分類する。

調査2の結果を件数の多い順にまとめると、次のようになる。なお、紙幅の都合上件数が 10 件以下の述部については「その他」とした。

表 1: 述部別の件数

述部	助詞(件数内訳)	件数
言い切り①		211
ある	φ/ガ/ハ/ノ/モ/トカ/サエ (56 / 20 / 5 / 4 / 2 / 1 / 1)	89
感じる	ヲ/φ/シカ [-ない] /スラ/ニ/ (56 / 13 / 7 / 1 / 1)	78
深い	ガ/φ(40 / 4)	44
言い切り②		24
ない	シカ/ハ/φ(16 / 2 / 1)	19
[○○み]だ		16
溢れる	φ/ガ(7 / 4)	11
その他		108
合計		600

最も多いのは言い切り①(形容詞に置き換え可能な形)であり、次いで「φ ある」(56 件)「ヲ感じる」(56 件)「ガ深い」(40 件)「ガある」(20 件)が上位となった。

3.3. 調査3

調査2の結果をもとに、「Twitter 検索」で「みある」「みを感じる」「みがある」を検索

し、ヒットした投稿からミ形を抜き出した。調査対象は2016年7月1日に投稿されたツイートに絞って行った。

結果、形容詞は「やばみ」が230件でもっとも多く、次いで「つらみ」(181件)「ねむみ」(179件)などが多く見られる結果となった。「ない」「良い」を「なさみ」「良さみ」とするようミ形になる際に「さ」が挟まれる場合があることは3.1.節でも述べたが、調査3では「ほしさみ」という例も2件得られた。

(4) 石田三成 1905年頃に生まれ変わって官僚やってほしさみあるよな～(2016.7.1)

名詞(延べ1,638件)のうち1,069件は固有名詞であり、人名・キャラクター名・グループ名をさす固有名詞が868件ともっとも多く、次いでアニメ・漫画・小説・ゲーム・ドラマ等の作品タイトルが172件であった。名詞に多く見られたのは「パパ」「ママ」「王子」「聖母」などの人間や人格を持った存在を表す語、「ゴリラ」「猫」などの動物を表す語である。形容詞、名詞のほかに、形容動詞、動詞、擬態語を基体とする例が得られた。

「ごめんなさいみ」「先見の明み」など、語を超えて句ないしは節全体に接続している場合や、「ほしいみ」「かわいいみ」など「語幹+み」ではなく「終止 / 連体形の活用語尾+み」の形をとっている場合もある。「ブルーレットの原液(?)み」のようにhostの名詞句と「-み」の間に()が挟まる例も得ることができた。

4. 考察

4.1. 基体の拡張

4.1.1. 形容詞

北原(編)(2010)の形態素分析に従い、調査対象の形容詞をその構造によって以下のよう分類した。

- A. 単一の基体+派生接尾辞「-い」 ex. 甘い(あま・い)
- B. 複数の基体ないしは接頭辞と基体+派生接尾辞「-い」
ex. 甘酸っぱい(あま-ずっぱ・い)、小賢しい(こ-ざかし・い)

これに従って従来のミ形を作る形容詞30語を分類すると、Aが29語を占めるのに対しBは「生臭い」(なま-ぐさ・い)の1語のみであった。これは、影山(1993)の「-み」は単一の基体にしか接続しないという指摘に概ね合致している。

対して、新しいミ形が得られた360語のうち、Aは155語(43.1%)、Bは205語(56.9%)となった。表3の119語(ツイート件数100件以上)に限ると、Aは85語(71.4%)、Bは34語(28.6%)である。以上のことから、新しいミ形は従来のミ形と異なり、複数の基体や接頭辞と基体からなる語幹にも接尾辞「-み」が接続することがわかる。ただし、新しいミ形の中でもより多く使われるものには、単一基体+「-み」の形が比較的多いといえる。

4.1.2. 形容詞以外の品詞

杉岡(2005)は、接辞「-み」は接辞「-さ」と比較して基体となる品詞を厳しく制限しない傾向にあるとし、形容詞以外の基体の例を挙げている。今回の調査3において得られた新しいミ形では、杉岡(2005)の挙げた形容動詞(新鮮み)や名詞(人間味、現実味)の例の他にも多くの形容動詞・名詞が基体となっている。

形容動詞では、「理性的(な)」「対照的(な)」のような派生語や、「シリアス(な)」「レア(な)」のような外来語が基体になったミ形が得られた。杉岡(2005: 78)では派生語や外来語には「-み」は付加しないとされていることから、これらも新しいミ形であると考えられる。

名詞に関しては、3.3.節で述べたように調査3で抽出した1,638語のうち1,069語(65.3%)が固有名詞であった。

- (5) ダイソーに行くとき大抵ヘラが置いてあるのが広島みを感じる(2016.7.1)
- (6) 今週初めて真田丸を見たけど三谷幸喜みを感じた(2016.1.18)
- (7) 地下鉄の車窓に映る自分の髪型がキムタクみを帯びていたのでなんとかしなくては…。(2016.6.22)

人名やキャラクター名からミ形を作ると、対象を知っている者の間で共有されている容姿・性格・イメージカラーなどの情報から、「いかにもその人物らしい性質」を端的に表すことが可能になる。作品名についても同様で、ある作品から別の作品に共通する要素を感じとった時、自分と同じく両方の作品を知る者に対して「この作品とあの作品は似ている」と伝えるために、ミ形というかたちで端的に表された「性質」が役に立つ。

新しいミ形の基体となる名詞のバリエーションは非常に豊富だが、一般名詞の中では人間や人格を持った存在を表す語が多く見られた。一般名詞319語(異なり語数)のうち、127語(39.8%)がこれに該当する。

- (8) 寝たの遅かったし疲れてるし昼まで寝てようかと思ったけどそれでもこの時間に起きちゃうの社会人みを感じる(2016.7.1)

「父・パパ・お父さん」「ママ・おかん」「姉・お姉ちゃん」「兄・お兄ちゃん」「妹」「弟」「孫」のような親族を表す名称、「神様」「聖母」「聖人」「天使・大天使」のような宗教に関係する名称など、現れる語はさまざまである。こうした名詞から作られるミ形は、特定の人物像・キャラクター性を想起させることにより、当該の人物について自分の抱いているイメージを表現する役割を担っている。宗教に関係する名称が見られるのも、信仰の対象になぞらえるというやや大袈裟な表現を用いて、その人物に対する肯定的な感情を強調しているためであろう。概して、名詞を基体にしたミ形によって、「特定の人・事物に対して、投稿者と読者が共通して持っているイメージ」というひとつの「性質」を端的に表現することができると考えられる。

新しいミ形として特徴的なのは、「わかりみ」のような動詞連用形+「-み」の形や「帰

りたみ」のような動詞連用形+助動詞「たい」+「-み」の形である⁶。

(9) インドカレー食べたみある...(2016.7.1)

(10) ホラーゲームとかも1人ではできないけどみんなでギャーギャー騒ぎながらならやり
たみある(2016.7.1)

「赤い」に対する「赤みがある」のように、ミ形はその状態が完全ではなく部分的であることを表すためにも使える。「わかる」に対して「わかりみ」は「完全に同意するわけではないが理解は示す」というように程度を表している、同様に「～したい」に対して「～したみ」は直接的な欲求の表現を避けるための婉曲表現として用いられている、とも考えられる。

4.1.3. 句や節への接続

「化粧品のCMみ」のような名詞句や、「ガラステーブルに座った猫を下から見た時み」のような節の末尾に「-み」を付けるという用例が調査3で得られた。特定の人や事物に関して共有されているイメージを表現したい場合に、その対象が1語では表せないということも起こりうる。そのため、名詞句や節に「-み」がつく現象が起きるのだと筆者は考える。例えば「80～90年代ごろのロボットアニメみ」であれば、単なる「ロボットアニメ」では表現しきれない要素、ある年代の作品に特有のストーリーや絵柄の特徴を想起させることができる。こうした句や節への接続は、新しいミ形の使用が拡大し、基体が拡張するに伴って徐々に受け入れられてきたのではないかと考えるが、今回の調査の限りでは明らかでない。

「ほしいみ」「描きたいみ」「仕事したくないみ」(cf. ほしみ、描きたみ、仕事したくないさみ)のように、本来語幹に付いて語を派生する接尾辞である「-み」が語幹ではなく終止/連体形の活用語尾に接続する例も見られた。「～い」を連体形としてとらえれば、「み」が接尾辞ではなく形式名詞のような用いられ方をされていると見ることもできる。

4.2. 言い切り表現

3.2節で述べたように、形容詞語幹を基体とする新しいミ形は言い切り(形容詞終止形に置き換え可能)の形での用例がもっとも多かった。つまり、「この本は難しい」のように本来形容詞の終止形で表すところを、「この本は難しみ」のようにミ形で表している例である。写真や画像に添えるコメントとして「かわいい」と言う代わりに「かわいみ」を用いる等、ミ形一語文も多く見られた。

言い切りに準じる形としては、「かわいみだ」「横浜は遠みです」のような「～みだ・です」の形があった。特にリプライ(特定の相手に向けた会話)において、言い切りの形だと敬語表現ではなくなってしまうため、「～みです」と丁寧語にして用いている例が得られた。

⁶ 動詞連用形+「たい」の形は形容詞と同じ活用を示すことから、類推によって「-み」を取りやすくなっているとも考えられる。

4.3. 表現手法としてのミ形

以上のように多様なミ形が新しく生まれている理由として、共起する述部の観点から考察する。調査2で得られた述部は「すごい」「やばい」「溢れる」など程度が甚だしいことを表すものが顕著であった。自分の抱いた感情を強調して表現するためには、副詞「すごく」や「とても」を用いることができるが、「〇〇み」と名詞化した語を主語や目的語にとり、共起する述部によって程度の甚だしさを表す方が、様々なバリエーションを生むことが可能になる。より新鮮でインパクトの強い表現を生むため、このような方策がとられていると考えることができる。

5. まとめ

本稿では、Twitter の投稿に着目してネット集団語における接尾辞「-み」の基体の拡張を調査した。その結果、従来「-み」が接続しなかった形容詞 360 語が新しいミ形を作るほか、形容動詞・名詞・動詞・オノマトペでも新しいミ形を作ることが明らかになり、「-み」が語を超えて句や節を host としている用例も得る事ができた。これらの新しいミ形は、限られた字数できわめて個人的・内的なことがらを表現する Twitter という場で、読み手に端的に、かつ生き生きと意図を伝える役割を果たしている。

参考文献

- 宇野和 (2015) 「Twitter における「新しいミ形」」『國文』123: 106-94. お茶の水女子大学国語国文学会.
- 影山太郎 (1993) 『文法と語形成』東京: ひつじ書房.
- 北原保雄 (編) (2010) 『明鏡国語辞典』, 第2版. 東京: 大修館書店.
- 杉岡洋子 (2005) 「名詞化接尾辞の機能と意味」『現代形態論の潮流』75-93. 東京: くろしお出版.
- 林巨樹・斎藤正人・飯田晴巳 (1973) 「古今形容詞一覧」鈴木一彦・林巨樹 (編) 『品詞別日本文法講座 形容詞・形容動詞』208-226. 東京: 明治書院.

参考 URL

- Twitter サポートセンター <https://support.twitter.com/>(最終閲覧日 2016/12/04)
- Twitter について <https://about.twitter.com/ja/company/>(最終閲覧日 2016/12/04)

調査資料

- KOTONOHA 現代日本語書き言葉均衡コーパス少納言
<http://www.kotonoha.gr.jp/shonagon/> (最終閲覧日 2016/11/05)
- KOTONOHA 現代日本語書き言葉均衡コーパス中納言
<http://chunagon.ninjal.ac.jp/> (最終閲覧日 2016/11/29)
- Twitter 高度な検索
<https://twitter.com/search-advanced> (最終閲覧日 2016/12/04)